

磨くは「技と精神(こころ)」

校章の心

(型アヤメの花三輪の和)

カテゴリー：③教育方法

～宮看の共育～

学校概要：宮本看護専門学校 所在地 茨城県稲敷市幸田 924 番地

課程名 3年課程 1学年定員数 40名 修業年限 3年



- 病人の心の花
- 医療の心の花
- 看護の心の花

本校は、月に1回、放課後に学生と教員が看護技術を学び合う時間があります。本校の校歌にもある、「磨くは技と精神(こころ)」が学べるよう、共に学び合いながら宮看の「技」を身に着ける目的です。テーマに沿って学び合い、参加は自由とし、看護を楽しみながら、「技術の探求」を大切にしています。



テーマ「リラックス効果がある手浴」



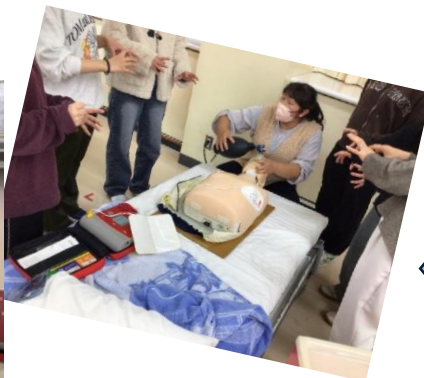
患者役：教員 実施者は1年生

「先生に実施するの緊張する～」と言いながらも、実習中、指導者に教えていただいた方法を教員に実践！患者役の教員からは、「本当に気持ちいい～」という声が聞かれた

教員から「もっとこうするといいよ」と看護師として患者さんへ提供していた時の工夫点などを学生へ伝授！学生から「**さすが先生！**」と話をしながら楽しく実践♪



テーマ「命を救え！急変対応！」



2年生と教員と一緒に学び合い！BLS インストラクターとして活躍している教員から技術を学ぶ！看護師時代に経験した急変対応の話、学生からの質問に答えながら実施！

私は、看護教員歴 10 年、臨床現場から離れていることで、自分の実践力に不安を感じることがありました。そこで今回、学生と一緒に看護技術を学ぶ機会を持ちました。実際に患者体験を通して学ぶことで、患者の気持ちを改めて感じ、**看護の力**や**あたたかさ**を再認識しました。また、「実習中、指導者さんからこうやる」といいと教わりました！」と学生から現場での技術を学ぶことができました。学生と共に学ぶ中で、私自身も多くの気づきや新たな発見を得て、とても刺激になりました。特に印象的だったのは、学生が想像以上に、多くの困難さや不安を抱えながら学んでいることを知ったことです。教員として、「こうすればいい」と簡単に伝えていたことも、実際に自分でやってみると難しさを感じました。その経験から、「次はこう伝えよう！」「もっとこう支援しよう」と、指導方法を見直すきっかけにもなりました。学生と一緒に学ぶ時間はとても楽しく、学び合うことの大切さを実感しました。また、学生から「先生すごい！」と言ってもらえたことは、とても嬉しく、「看護教員として関わられてよかった」と改めて感じる経験となりました。これからも、本校の重点目標である「**共育**」を大切に頑張っていきたいと思います。